

ドキュメント制作・管理の課題と DITA活用

DITAとFrameMaker 連携による ドキュメントソリューション

2009年5月14日

株式会社日本ユニテック

アジェンダ

- ◎ DITAとは？
- ◎ FrameMakerとは？
- ◎ FrameMaker9デモンストレーション
 - DITAの標準サポート
 - 新機能紹介
- ◎ 日本ユニテックとは？



DITAとは？

- ◎ 技術文書作成における，いくつかの課題に取り組む考え方
 - 多媒体への出力／開発サイクルの短縮／オンデマンド指向／情報のリンクと相互参照重視
- ◎ 沿革
 - 1999 年からIBM, Lotus, Tivoli の代表者によるワーキンググループにより検討
 - 内容構造の定義だけでなく，編集のあり方やツールの機能までも規定するもの
 - 2001 年 4 月に IBM の DeveloperWorks Web サイトに公開
 - 2004 年 3 月にOASISへの寄贈
- ◎ 概要
 - Darwin Information Typing Architectureの略
 - XMLベースのテクノロジ
 - トピック（topic）指向のアーキテクチャ
 - 個々のコンテンツを独立した小さな単位（topic）で作成して運用する
 - mapを用いてtopicを組み合わせる
 - ドキュメントを組み合わせる目次構成のようなもの

標準スキーマとしてのDITA

- ◎ 特に製造業界にスコープした，構造化の概念
 - 共通部品の多いドキュメントには適用範囲が広い
 - J2008やDocBookからの移行
- ◎ 標準セットが提供されるため，カスタマイズによって高品質な構造化を実現することができる
 - 要素・属性の基本的な設計が不要
- ◎ アプリケーション側が標準で対応するため，ワークフローやデータフローを構築する際のコストメリットがある
 - FrameMakerほか
- ◎ 考え方としては目新しいものではないが，標準スキーマとして策定され，運用されることにメリットがある

FrameMakerとは？

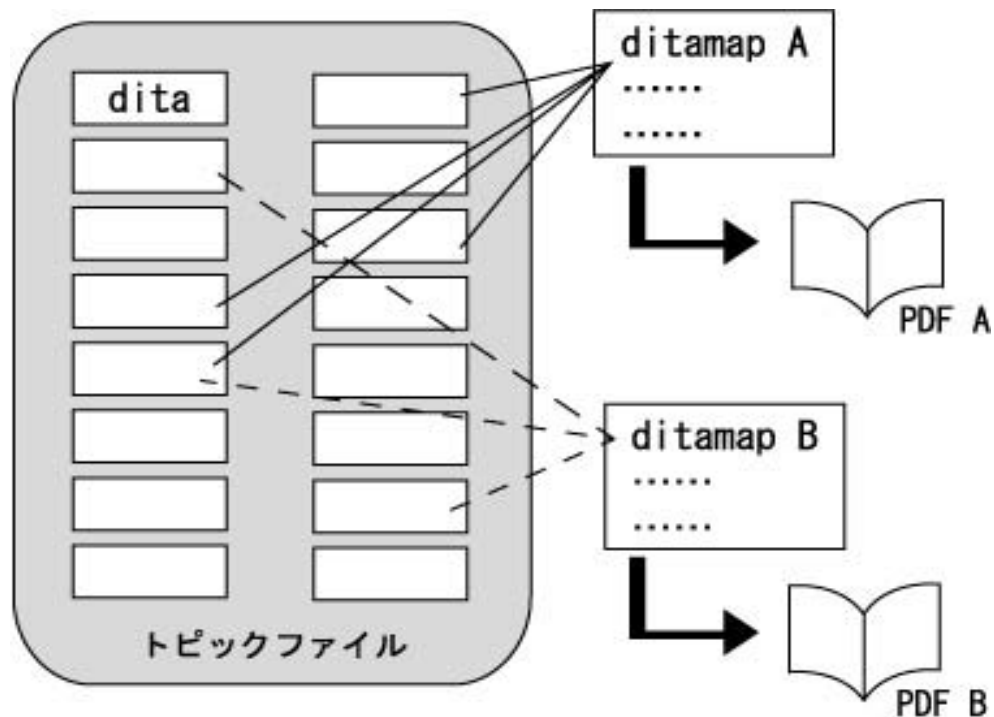
- ◎ 主に技術文書（なかでも長大文書）を編集する際に適しているDTPソフトウェア
 - 取扱説明書／サービスマニュアル／パーツカタログ／論文／政府系
- ◎ 歴史
 - 米物理学者が論文作成のために開発したものが公開され、大学を中心に普及した。その後Frame Technology社が創設され、FrameMaker（以下：FM）が発売される
 - 1995年にAdobe Systems社がFrame Technology社を約5億ドルで買収し、FM+SGML発表
 - 1997年に5.5, 1998年に5.56, 2000年に6.0, 2002年に7.0, 2007年に8.0, 2009年に9
- ◎ 概要
 - 徹底した書式（段落・文字・表）とレイアウト（マスターページ・リファレンスページ）管理
 - 大規模な文書に不可欠な目次・索引, 相互参照や変数設定を柔軟に扱うことができる
 - eラーニング系のアプリケーションと組み合わせたTechnical Communication Suiteも存在する
 - WindowsとSolarisに対応。Macintosh版は2004年4月15日をもって販売終了
 - UIを持たないサーバ版も存在する
 - InDesignに比べ、レイアウトの自由度は高くないが、パフォーマンスは高い

FrameMaker9 デモンストレーション



DITAの標準サポート

- ◉ DITA1.1のフルサポート
- ◉ topicの再利用
- ◉ topicの組み合わせ次第で柔軟にブック、ヘルプなどを作成可能
- ◉ コンテンツとスタイルを分離することによるデータの本質的価値の向上



topicの種類

◎ Concept型

- 概念を説明する「解説書」タイプの技術資料を記述

◎ Task型

- 作業を説明する「作業手順書」タイプの文書を記述

◎ Reference型

- コマンド一覧などの「参考情報」を記述

◎ Glossary 型

- 「用語集」タイプの文書を記述

新機能

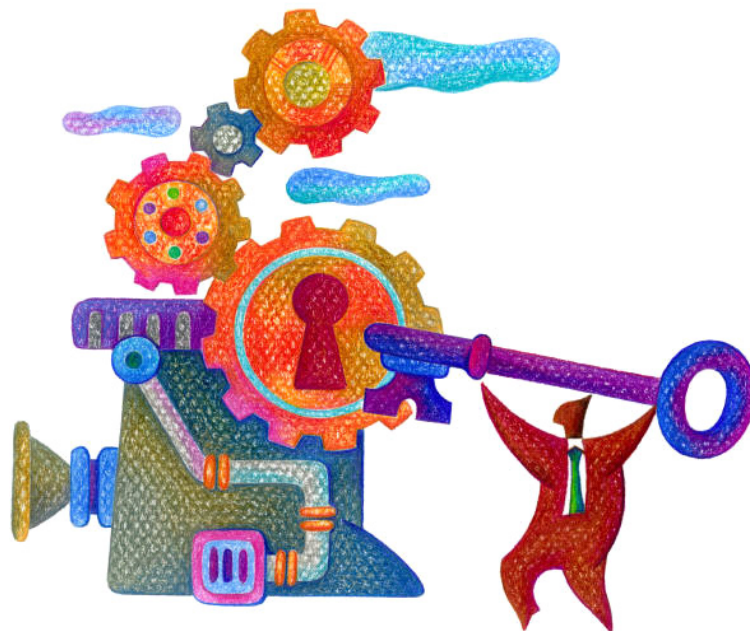
- ◎ ユーザーインターフェースの変更

- ワークスペース
- パネル
- ポッド

- ◎ 階層化されたブック

- ◎ PDFファイルからのコメント

- ◎ 文字パレット



パネルのドッキング

パネルをクリックすると



最小化



クリックすると



他のパネルとドッキングも可能



ポッドの種類

- ◉ コンディショナルテキスト
- ◉ 相互参照
- ◉ マーカ
- ◉ 変数
- ◉ フォント
- ◉ インセット



人をつなぐ、技をつなぐ

<http://www.utj.co.jp/>

105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-27 巴町アネックス2号館6階

Tel. 03-5733-7611 Fax. 03-5733-7614

uniTEC
株式会社日本ユニテック